

「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」を策定しました！

人口減少・超高齢社会の到来、地球温暖化や災害に強いまちづくりへの対応など、本市を取り巻く状況が大きく変化している中で、本市の更なる成長・発展を図っていくためには、都心部の機能強化が必要不可欠です。

そこで、横浜駅周辺地区、みなとみらい 21 地区、関内・関外地区の従来の横浜都心部に、新たに東神奈川臨海部周辺地区、山下ふ頭周辺地区の 2 地区を加えた 5 地区を対象とした、『横浜市都心臨海部再生マスタープラン』を策定するため、平成 26 年 3 月に横浜市都心臨海部再生マスタープラン審議会に諮問し、検討を進めてまいりました。

このたび、平成 27 年 2 月 18 日に、審議会から答申されましたので、その答申を受けて、『横浜市都心臨海部再生マスタープラン』を策定しました。

■プランの概要

- 1 都心臨海部再生マスタープランの策定の趣旨
- 2 都心臨海部再生マスタープランの位置づけ
- 3 都心臨海部の重要性
- 4 都心臨海部の特性
- 5 都心臨海部強化に向けた考え方
 - ・ 2050 年に向けたまちづくりの視点
 - ・ 都心臨海部の将来像
 - 世界が目出し、横浜が目的地となる新しい都心
 - ～都心臨海部を中心とした新しい横浜ライフの実現～
 - ・ 3つの基本戦略
 - 戦略 1：次の時代の横浜の活力をけん引するビジネス・産業づくり
 - 戦略 2：豊かな創造力・市民力が息づく横浜スタイルの暮らしづくり
 - 戦略 3：個性豊かなまちの魅力をつなぎ港と共に発展する都心づくり
 - ・ 5つの施策
 - 施策①：世界中の人々を惹き付ける空間・拠点の形成
 - 施策②：まちを楽しむ多彩な交通の充実
 - 施策③：世界を先導するスマートな環境の創出
 - 施策④：災害に強い都心臨海部の実現
 - 施策⑤：都市活動の担い手が活躍する仕組み・体制の充実

■冊子・概要版パンフレットについて

プランの冊子及び概要版パンフレットの作成は、3月下旬を予定しています。
なお、プランについては、都市整備局ホームページで、ご覧いただけます。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/toshi/kikaku/toshinmp/>

■ 検討経緯

日付	検討内容	
平成 25 年度	庁内検討会議を設置し、「横浜市都心臨海部再生マスタープラン」のたたき台作成	
平成 26 年 2 月 25 日	「横浜市都心臨海部再生マスタープラン審議会条例」 制定	
平成 26 年 3 月 7 日	「横浜市都心臨海部再生マスタープラン審議会」 設置	
平成 26 年 3 月 27 日	第 1 回審議会	(1) 会長選出及び職務代理者の指名 (2) 横浜市都心臨海部再生マスタープランについて
平成 26 年 4 月 18 日	視察会	船上から都心臨海部を視察後、バスにて、山下ふ頭、 関内・関外地区、みなとみらい 21 地区、東高島北地区を視察
平成 26 年 4 月 25 日	第 2 回審議会	(1) 横浜市都心臨海部再生マスタープランについて
平成 26 年 6 月 23 日	第 3 回審議会	(1) 横浜市都心臨海部再生マスタープランについて
平成 26 年 8 月 5 日 ～ 9 月 5 日	市民意見募集	2 6 1 通、5 4 6 件の意見をいただきました。
平成 27 年 1 月 30 日	第 4 回審議会	(1) 市民意見募集の実施結果について (2) 横浜市都心臨海部再生マスタープラン答申（案）について
平成 27 年 2 月 18 日	審議会が「横浜市都心臨海部再生マスタープラン答申」を提出	



お問合せ先
都市整備局企画課長 大石 龍巳 Tel 045-671-2005